



2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社 コスモス薬品

上場取引所 東

コード番号 3349 URL <http://www.cosmospc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 英昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴田 太 TEL 092-433-0660

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 2020年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (記者及びアナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	325,269	9.0	11,965	2.9	13,110	2.9	8,771	2.6
2019年5月期第2四半期	298,372	10.2	12,327	19.8	13,498	16.5	9,005	15.7

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 8,783百万円 (2.6%) 2019年5月期第2四半期 9,016百万円 (15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	443.00	
2019年5月期第2四半期	454.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	278,727	133,983	48.1
2019年5月期	273,561	126,289	46.2

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 133,983百万円 2019年5月期 126,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		45.00		55.00	100.00
2020年5月期		50.00			
2020年5月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	658,500	7.7	24,800	0.1	27,300	0.0	19,190	0.0	969.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	20,000,400 株	2019年5月期	20,000,400 株
期末自己株式数	2020年5月期2Q	200,834 株	2019年5月期	200,834 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	19,799,566 株	2019年5月期2Q	19,799,567 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	9
商品区分別売上状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年6月1日～11月30日)におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢など先行きが不透明な状況が続きました。また、国内の雇用環境は人手不足により賃金単価が上昇しているにも関わらず、個人消費は力強さを欠き、消費者の低価格志向はますます強くなっております。特に、10月の消費税増税によって消費者が価格に敏感になったことで、9月には想定外の駆け込み需要が発生し、10月は反動減が発生いたしました。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。加えて、「毎日安い(エブリデイ・ロー・プライス)」政策を忠実に実行することで物流や店舗作業の平準化を行い、ローコストオペレーションの更なる推進を図りました。これにより価格競争力を高め、ご来店いただくお客様に「高品質な商品をより安く」販売できるように努めてまいりました。また、増税時に税込価格を据え置いたことで、棚卸在庫の評価減が生じております。しかしながら、11月には既存店売上高前年比が3.2%増となるなど、売上高は堅調に推移いたしました。

出店戦略につきましては、自社競合による一時的な収益性の低下も厭わず、当社創業の地である九州地区にも出店を継続しております。同時に、新商圏への店舗網拡大も図ってまいりました。これにより、新規出店につきましては、関東地区に1店舗、中部地区に6店舗、関西地区に18店舗、中国地区に2店舗、四国地区に2店舗、九州地区に12店舗の合計41店舗となりました。また、スクラップ&ビルドにより2店舗を閉鎖し、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は1,032店舗となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,252億69百万円(前年同四半期比9.0%増)、営業利益は119億65百万円(同2.9%減)、経常利益は131億10百万円(同2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は87億71百万円(同2.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,787億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて51億66百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が18億40百万円、商品が3億10百万円減少し、有形固定資産が56億1百万円、未収入金等その他の流動資産が16億34百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は1,447億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億28百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金が14億40百万円、未払法人税等が2億35百万円、長期借入金が7億43百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は1,339億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて76億94百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて18億40百万円減少し、171億82百万円(前年同四半期比28.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は138億74百万円(前年同四半期比38.1%増)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益129億45百万円、減価償却費66億2百万円等の増加要因、仕入債務の減少14億40百万円、法人税等の支払額43億59百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は129億36百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出125億16百万円、敷金及び保証金の差入による支出4億3百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は27億77百万円(前年同四半期比27.7%減)となりました。

これは、長期借入金の返済による支出7億43百万円、配当金の支払額10億89百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出9億44百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月12日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,022	17,182
売掛金	398	405
商品	53,090	52,780
貯蔵品	199	207
その他	7,674	9,309
流動資産合計	80,385	79,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	133,181	138,289
土地	21,964	23,947
その他(純額)	17,670	16,181
有形固定資産合計	172,816	178,418
無形固定資産		
投資その他の資産	287	258
敷金及び保証金	13,106	13,219
建設協力金	3,803	3,725
その他	3,162	3,220
投資その他の資産合計	20,071	20,166
固定資産合計	193,176	198,843
資産合計	273,561	278,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,796	109,355
1年内返済予定の長期借入金	1,486	1,486
未払法人税等	5,001	4,765
店舗閉鎖損失引当金	104	84
その他	15,781	15,607
流動負債合計	133,170	131,300
固定負債		
長期借入金	7,061	6,318
退職給付に係る負債	1,005	1,086
資産除去債務	1,642	1,690
その他	4,392	4,348
固定負債合計	14,101	13,443
負債合計	147,272	144,743

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	117,829	125,511
自己株式	△238	△238
株主資本合計	126,380	134,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
退職給付に係る調整累計額	△92	△80
その他の包括利益累計額合計	△91	△78
純資産合計	126,289	133,983
負債純資産合計	273,561	278,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	298,372	325,269
売上原価	238,395	260,684
売上総利益	59,976	64,584
販売費及び一般管理費	47,649	52,619
営業利益	12,327	11,965
営業外収益		
受取利息	36	32
受取手数料	349	363
不動産賃貸料	614	624
固定資産受贈益	158	187
その他	342	344
営業外収益合計	1,501	1,552
営業外費用		
支払利息	39	35
不動産賃貸原価	229	226
その他	61	146
営業外費用合計	329	408
経常利益	13,498	13,110
特別利益		
受取保険金	80	2
特別利益合計	80	2
特別損失		
固定資産除却損	55	34
災害による損失	189	17
店舗閉鎖損失	26	31
店舗閉鎖損失引当金繰入額	35	84
特別損失合計	307	167
税金等調整前四半期純利益	13,271	12,945
法人税等	4,266	4,174
四半期純利益	9,005	8,771
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,005	8,771

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	9,005	8,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
退職給付に係る調整額	11	11
その他の包括利益合計	10	12
四半期包括利益	9,016	8,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,016	8,783

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,271	12,945
減価償却費	6,242	6,602
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	83	98
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	35	84
受取利息及び受取配当金	△36	△32
支払利息	39	35
災害による損失	189	17
受取保険金	△80	△2
固定資産除却損	55	34
店舗閉鎖損失	26	31
売上債権の増減額(△は増加)	△74	△6
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,248	277
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,755	△1,440
その他	212	△388
小計	13,961	18,255
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△39	△35
法人税等の支払額	△3,750	△4,359
災害による損失の支払額	△126	△14
保険金の受取額	—	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,044	13,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,000	△12,516
有形固定資産の売却による収入	297	—
建設協力金の支払による支出	△282	△102
建設協力金の回収による収入	206	186
敷金及び保証金の差入による支出	△852	△403
敷金及び保証金の回収による収入	310	213
その他	△180	△314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,501	△12,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,930	△743
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,020	△944
配当金の支払額	△890	△1,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,841	△2,777
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,298	△1,840
現金及び現金同等物の期首残高	21,668	19,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,369	17,182

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 補足情報

商品区分別売上状況

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)		(参考) 前期 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
医薬品	45,761	15.3	50,633	15.6	95,381	15.6
化粧品	31,291	10.5	34,542	10.6	64,222	10.5
雑貨	49,199	16.5	52,245	16.1	100,057	16.4
一般食品	168,376	56.4	183,921	56.5	343,809	56.3
その他	3,743	1.3	3,927	1.2	7,667	1.2
計	298,372	100.0	325,269	100.0	611,137	100.0